

道端で拾ったような 恋心に溺れて  
拾ったところで 律儀に捨てられて

ヒトなんて水たまりでも 溺れて死ぬるって  
証明できそつな 今日の「青空」

裸足で歩こうかな 破かれた地図は置いていこう

意味のない言葉遊びも 苦しめて逃げ出した  
螺旋階段 見える景色は同じで

途中で信じたはずの道しるべ  
私にはどこか他へ行く「GO+」が必要

つまづいて転んだり 寝ころんだりして  
子猫に教えられた 抜け道を のぞき込んだりして

滑り落ちてく しずくの跡を 朝の光が照らすなら  
「明日」は晴れる ちいさな太陽 掴み取ってポケットに入れたから  
きっと大丈夫(\*^\_^\*)

スカートの砂 落としたり、ちゃんと歩き出す。

## ■ マリーゴールド

同じ部屋で 同じように朝が来て  
だけと違うひとに見える

予感してた 私の知らない顔  
だけと違うひとに見える

ほんとは知ってるの  
だけとまだ言わない  
涙を見せるのは反則だけど

ラヴソファで見つけた  
うわのそらで裏切り  
ラヴソファで見つけた  
烙印にはKissの雨

ほんとは知ってるの  
だけとまだ言わない  
「どうして泣いてるの？」  
誰に訊いているの？  
痛い。

ほんとはあなたのこと横取りしてるのは私かもね  
空は空のまま 決して触れられない 風の行方も

あなたはあなたのまま それが私の傷口になる  
空は空のまま 決して傷つかない 雲は流れる

強い百合の残り香  
すこしやきもちやきの「彼女」の香り

あなたは深く自分を愛していて  
私をまるで自分のように扱う

あなたは深く自分に響つていて  
私をまるで自分のように欲しがる

いつしか見分けもつかないほどに  
顔も仕事も似通うふたり

柔らかな言葉 甘く溶ける睡  
誰にでもなくささやくのは夢のつづき

吐息はまるで呪文のようね  
「【アイシテル】って言ったら負けよ」  
そしてあなたは微笑む

要らない。  
体、なんて、要らない。  
ただきつと、もっと、ずっと  
溶けてくだけの境界線のない鏡が欲しいだけ

訊かないで。理由なんてないよ。  
言わないで。嘘になるよ。  
見ないでよ。遠くなるよ。

触れてるだけでいい...

要らない。  
殻体なんて要らない。  
ただきつと、もっと、ずっと  
溶けてくだけの境界線のない鏡が欲しいだけ

## ■ selfish



# 『ほすぴすでも。』

ほすぴす are

Vo. 静暮 Gu.sakyo Ba. 昌博 Dr. 克弥